

## エンドユーザー向けサブアカウント利用規約

エンドユーザーがグローバルサインのパートナー（以下「パートナー」という）から購入したグローバルサイン製品及びサービスの使用及び／又は再販は、エンドユーザー向けのサブアカウントの本利用規約（以下「サブアカウント利用規約」という）を含む、エンドユーザーと該当するパートナーとの間の契約に従うものとする。本サブアカウント利用規約は、パートナーによって作成されたサブアカウントで利用可能な製品及びサービスの使用を規定するものである。エンドユーザーがリセラーである場合、本サブアカウント利用規約は、エンドユーザーとして製品及びサービスを使用する際の利用条件を規定するものである。同意のチェックボックスにチェックを入れることにより、エンドユーザーは、本サブアカウント利用規約に拘束されることに同意するものとする。本サブアカウント利用規約に同意しない場合は、グローバルサインの製品又はサービスにアクセスしたり、使用したりすることはできない。

同意のチェックボックスにチェックを入れることにより、申込者は注文概要に記載された組織（以下「貴社」又は「エンドユーザー」という）を代表して本サブアカウント利用規約を承諾し、グローバルサインとの本サブアカウント利用規約の条件に貴社を拘束する権限を有することを表明し、保証するものとする。

### 1. 定義

**管理者：**エンドユーザーの Atlas サブアカウントに登録されており、エンドユーザーの代表として各種機能を実行する権限を持つユーザーをいう。

**関連企業：**グローバルサインを直接又は間接的に支配下におくか、その支配下におかれている、又はその共通の支配下におかれている組織をいう。

**API クレデンシャル：**エンドユーザーがサービスにアクセスするために使用する API キーとシークレットで構成される認証方法をいう。

**アプリケーション（アプリ）：**モバイルデバイス（スマートフォン等）向けに設計されたアプリケーションをいう。アプリには、エンドユーザーが本サービスへのアクセス又は第三者製品との統合を可能にするために、グローバルサインが提供するインテグレーション又はコネクタが含まれる。アプリは、別の利用規約の対象となる場合がある。

**Atlas サブアカウント：**エンドユーザーのためにパートナーが作成した Atlas のアカウントをいう。

**証明書：**デジタル署名によってある公開鍵とある本人確認情報との間を紐づける電子文書、すなわち電子証

明書をいう。

**CPS**：グローバルサインの認証業務運用規程をいう。<https://jp.globalsign.com/repository/>にて公開されており、随時更新される。

**グローバルサイン**：製品をパートナーに提供するグローバルサイン法人をいう。上記にかかわらず、加入者が eIDAS 適格証明書を注文した場合、「グローバルサイン」は GlobalSign NV（ベルギー）を意味するものとする。

**業界標準**：(a) CA/Browser Forum が採用する要件又はガイドライン、(b) アプリケーションソフトウェアベンダーが採用する Trusted root store にグローバルサインが含まれるための要件、(c) eIDAS 規制を含むがこれに限定されないその他の規制又は準規制標準の何れかに該当するものをいう。

**パートナー**：グローバルサインによって、製品のマーケティング、販売又は再販を行う権限を与えられた第三者をいう。

**ポータル**：グローバルサインが提供する製品及びサービスの管理を容易にするためのアカウント管理及び注文ツールを提供する本サービスのポータルサイトをいう。ポータルには、有効に機能する証明書ライフサイクル管理（CLM）ツールである Atlas Discovery も含まれる。

**製品**：エンドユーザーがパートナーから購入したグローバルサインの製品をいう。

**パブリックに信頼される証明書**：広く普及するアプリケーションソフトウェアに搭載されるルート CA 証明書にチェーンされている事実をもって信頼を享受する証明書をいう。

**サービス**：エンドユーザーがパートナーから注文した、製品を含むホスティングサービスをいう。

**サービス API**：本サブアカウント利用規約に基づきグローバルサインが提供する、サービスとエンドユーザーの内部システムとの統合を促進するアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）をいう。

**サービスクレデンシャル**：API クレデンシャル、シングルサインオン(SSO)、mTLS 証明書又は ACME MAC キー等のサービスにアクセスするためにグローバルサインがエンドユーザーに提供するあらゆる形式のクレデンシャルをいう。

**サブジェクト**：証明書にサブジェクトとして記載される個人、デバイス、システム、設備又は法人をいう。サブジェクトがデバイス又はシステムの場合は、利用者の管理下になければならない。

**利用者：**証明書の発行を受ける個人又は法人であり、利用約款により法的に拘束されるものをいう。証明書発行前、利用者は「申請者」と呼ばれる。デバイスに発行された証明書の場合、利用者/申請者は、証明書に記載されたデバイスを管理又は運営する主体であり、デバイスが実際の証明書要求を送信している場合も同様である。

**グローバルサイン電子証明書サービス利用約款（利用約款）：**CA と利用者の間の契約のこと。当事者の権利と責任を規定し、<https://jp.globalsign.com/repository/>に掲載され、随時更新される。

**第三者製品：**本サービスに特徴や機能を追加し、相互運用性や統合をサポートする目的で、第三者によって本サービスの一部として、又は本サービスに関連して、あるいは本サービスと共に使用するために提供される、個別にダウンロード又はアクセス可能なプラグイン又はアプリケーションをいう。

本サブアカウント利用規約で使用され、本サブアカウント利用規約内で別段定義されていない用語は、該当する CPS 又は利用約款に規定されている意味を持つものとする。

## 2. 製品及びポータルの使用

エンドユーザーは、本サブアカウント利用規約、利用約款及び CPS に従い、エンドユーザーの使用のために本製品及び関連文書を使用する権利を有する。

### 2.1 ポータルの使用

エンドユーザーはパートナーがエンドユーザーのための Atlas サブアカウントを作成した後、ポータルにアクセスすることができる。エンドユーザーは、エンドユーザーを代表して証明書の申請を承認する管理者を任命しなければならない。この役割の権限及び任命は、エンドユーザー又はグローバルサインによって取り消されるまで存続する。ポータルにおいてエンドユーザーの管理者は、ID の要求又はサービスクレデンシャルの取得等の機能を実行することができる。また、本ポータルは、サービス案内その他メッセージ等、グローバルサインから特定の通信を提供する場合がある。エンドユーザーは、エンドユーザーが保有するサービスクレデンシャルの機密性を維持する責任を負い、エンドユーザーの Atlas サブアカウントで発生する全ての活動に対して全責任を負うものとする。エンドユーザーは、(a) サービス資格情報の不正使用その他のセキュリティ違反があった場合、直ちにグローバルサインの [atlas-support-jp@globalsign.com](mailto:atlas-support-jp@globalsign.com) まで通知し、(b) 各セッション終了時に Atlas サブアカウントから確実にログアウトすることに同意するものとする。グローバルサインは、エンドユーザーが 1 年以上取引を行わなかった場合、エンドユーザーの Atlas サブアカウント及び/又はポータルへのアクセスを無効化又は削除することができる。

### 2.2 第三者製品

本サービスに関連して、グローバルサインはエンドユーザーの便宜を図るために、第三者製品を利用できる

ようにし、又はそれへのアクセスを可能にすることがある。エンドユーザーによる第三者製品の使用は、当該第三者製品に適用される別の規約（当該第三者製品のプロバイダのライセンス条件など）の対象となる場合がある。本サービスとの相互運用のために、エンドユーザーが第三者製品をインストール若しくは有効化し、又はグローバルサインにインストール若しくは有効化するよう指示若しくは何らかの方法で許可し、その連携により第三者がサービス認証情報を含むがこれに限定されないエンドユーザーの機密情報にアクセスすることになる場合、エンドユーザーは相互運用のために必要な範囲で第三者がエンドユーザーの機密情報にアクセスすることを許可する権限をグローバルサインに与えるものとする。エンドユーザーは、(i) 当該機密情報の第三者への開示又は第三者による使用、又は (ii) 第三者製品の使用、相互運用性又は利用可能性について、グローバルサインがエンドユーザーに対して一切の責任又は義務を負わないことに同意するものとする。

### 3. 使用上の制限

エンドユーザーは、以下の行為を行ってはならない。(a) 製品、サービス又はその構成要素の複製、修正又は派生物の作成、(b) ホスト、タイムシェア、レンタル、リース、販売、再販、譲渡、ライセンス、サブライセンス、譲渡、提供その他の方法により、第三者に対してサービス（製品を含む）を提供すること、(c) 本サービスのソースコードを逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングその他の方法で発見しようとする、(d) 本サービスを使用して侵害物や違法物、ウイルス、ワーム、時限爆弾、トロイの木馬その他の有害又は悪質なコード、ファイル、スクリプト、エージェント、プログラムを送信又は保存すること、又は(e) 本サブアカウント利用規約に従い、全ての適用される業界標準、法律及び規制を遵守して本サービスを利用する以外の方法で、本サービスを利用すること。

### 4. CPS 及び利用約款

エンドユーザーがパブリックに信頼される証明書を要求する場合、(a) 証明書及びサービスは、本サブアカウント利用規約で参照されることによって組み込まれ、<https://jp.globalsign.com/repository/>で入手可能な CPS 及び利用約款に従って提供されるものとし、(b) エンドユーザーは、本サブアカウント利用規約において利用者/申請者とみなされ、エンドユーザー及びその従業員又は請負人を含むがこれに限定されないサブジェクトが利用約款の条件を遵守することを保証しなければならない。証明書の使用は、利用約款及び CPS に準拠しなければならない。グローバルサインは、ポータル又はグローバルサインのウェブサイト新しいバージョンを掲載することにより、CPS 又は利用約款を改定することができる。

### 5. 個人情報とプライバシー

パートナーは、自社の内部業務目的のために個人データを取得する目的及び方法を決定し、グローバルサインは、購入された製品又はサービスをエンドユーザーに提供するために必要な範囲で、提供された個人データを使用する方法を別途決定する。グローバルサインは、<https://www.globalsign.co.jp/policy/privacy.html>に掲載されているプライバシーポリシーに規定されているとおりにのみ、エンドユーザーの個人情報を使用する。

## 6. 料金及び支払い

エンドユーザーは、パートナー及びエンドユーザーの間の契約の規定に従って、製品及び／又はサービスに対する料金をパートナーに支払わなければならない。

## 7. 保証と免責事項

グローバルサインは、<https://jp.globalsign.com/repository/>に掲載されている CPS に規定された保証のみを提供する。CPS に規定されている場合を除き、また適用される法律で認められる最大限の範囲において、グローバルサイン、その関連企業並びにそれぞれの承継人、取締役、役員、従業員及び代理人は、本サブアカウント利用規約で提供又は予定されるサービス、製品、第三者製品、証明書、ソフトウェア、文書その他サービスに関する使用、配信、ライセンス、性能若しくは非性能、又は使用若しくは使用できないことに関して明示又は黙示の他の全ての保証を否認する。グローバルサイン、その関連企業及びそれぞれの承継人、取締役、役員、従業員並びに代理人は、商品性、特定目的への適合性又は非侵害の保証を含むがこれに限定されない、明示又は黙示のあらゆる種類の表明及び保証を明示的に否認する。グローバルサインは、製品又はサービスが中断されないこと又はエラーがないことを保証しない。

## 8. 権利の帰属

本サブアカウント利用規約で明示的に付与された権利を除き、本製品、API 及びポータルに関する全ての権利、権限及び利益はグローバルサインが独占的に所有する。グローバルサインは、本サービス及び本サブアカウントの目的のためにグローバルサインが作成、使用又は提供するその他全ての製品、ソフトウェア、文書、作品その他知的財産並びにそれらの全ての修正、改良及び派生作品に対する全ての権利、権限及び利益を保持する。

## 9. 責任の制限

本サブアカウント利用規約又は本製品若しくは本サービスの利用若しくは利用不能に起因するあらゆる請求について、グローバルサイン、その関連企業並びにそれぞれの承継人、取締役、役員、従業員及び代理人がエンドユーザーに対して負う責任の総額は、如何なる場合も、その請求の原因となった事実の直前の 1 年間に、エンドユーザー向け製品に対してグローバルサインがパートナーから現実受領した価格の総額を超えないものとする。

## 10. 損害賠償の制限

グローバルサイン、その関連企業、並びにそれぞれの承継人、取締役、役員、従業員及び代理人は、如何なる場合においても、本サブアカウント利用規約に関連する、本製品又はサービスの利用又は利用不能から生じる利益又は収益の損失、データの損傷又は喪失を含むがこれに限定されない特別損害、結果損害、偶発損害又は間接損害について、グローバルサインに係る損害発生の可能性を知らされていたか否かに関わらず、エンドユーザー又は第三者に対して責任を負わないものとする。

V.1.0 : 2026 年 1 月 9 日制定